

渡平氏 （次郎） 劇作家。明治二十一年七月七日東京生れ、昭和十年八月十一日歿（六六—一九三三）。本名保次郎。早稻田大學文學部中退。雜誌『大衆論』編輯、研究座脚本主任など。大正八年藤井道澄主宰雜誌『黒煙』同人。

譯書、ゴルドン・クレーグ著『新劇原論』（大正九年十一月十五日演劇研究會、文泉堂發賣）、バヤナード・シヨウ作『一幕物』（内題『新聞切抜（一幕物）』大正十年六月十五日世界思潮研究會『世界パンフレット通信』號外）、ゴッペンスト著『露西亞舞蹈大觀』（共譯・舞臺藝術社同人、大正十一年九月二十一日ゾルス）